

## 日本学生支援機構貸与奨学金 令和8年度在学採用の募集について

この奨学金は、学ぶ意欲のある人を費用面で支援する制度で、貸与期間満了後は返還の義務が生じます。資金計画を立てて、借りることが大切です。

年間2回（春季、秋季）の申込機会があります。希望する方は、保護者等、学費出資者の方と相談の上、申込みをしてください。

**奨学金案内**はホームページに掲載しています。必ずあわせて確認してください。

**学部  
貸与**

### 1 奨学金の種類等 《奨学金案内 p 6～8》

(1) **第一種奨学金（無利子）** 家計基準や学業基準を満たす必要あり。

自宅通学 : 20,000 円、30,000 円、45,000 円(\*) から選択

自宅外通学 : 20,000 円、30,000 円、40,000 円、51,000 円(\*) から選択

(\*) 最高月額、奨学金申込時の生計維持者の収入が一定額以上の場合、利用できません。

※給付奨学金と第一種奨学金を同時に受ける場合、次の表のとおり、申込時に選択した貸与月額及び貸与中の月額が給付奨学金の支援区分によって調整されますので、注意してください。

区分	国公立			
	多子ではない世帯 (1子・2子世帯)		多子世帯	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分	0円	0円	0円	0円
第Ⅱ区分	0円	0円	0円	0円
第Ⅲ区分	20,300円	13,800円	0円	0円
第Ⅳ区分 (多子世帯)	-	-	0円	0円
多子世帯	-	-	300円	6,300円

(2) **第二種奨学金（有利子）** 第一種より申込基準が緩やかです。

20,000 円～120,000 円のうち1万円単位で選択

### 2 貸与期間

第一種奨学金：令和8年4月から標準修業年限まで

第二種奨学金：令和8年4月～令和8年9月のうち本人の希望する月から標準修業年限まで

### 3 初回振込日

初回振込日 7月10日（金）（4～7月分をまとめて振込）

※経済事情により、やむを得ず6月の初回交付を希望する方は、4月10日（金）までにキャンパス教学課まで申し出てください。その場合、申込期間が短くなるため、注意してください。

※2025年1月以降の生計維持者の転職により収入が減少した場合、再審査を申請することができます。その場合、審査に時間がかかるため、選考完了が大幅に遅れることがあります。

### 4 申込資格、選考基準等

奨学金案内 p 11～15 の(1)学力基準、(2)家計基準等を確認してください。

## 5 提出書類

別紙「貸与奨学金申込書類チェック表」で確認してください。

なお、該当者のみの色を付けていない提出物は、奨学金案内 p33 の「2 必要書類と提出先の確認」を確認し、準備してください。

## 6 申請スケジュール

申込みの流れ	期限
<b>1 大学教学課へ資料を請求する</b> 教学課窓口で申込に必要な関係書類を受け取ってください。	4/24 (金) までに
<b>2 「申込資格、選考基準等」に該当するか確認</b> 自身が申込資格や家計基準等を満たしているかどうか確認してください。	-
<b>3 申請書類を大学へ提出 &lt;提出先：キャンパス教学課&gt;</b> 申込資格、選考基準等の条件を満たしている場合は、提出書類を準備し、教学課窓口へ提出します。	学内締切 5/1 (金)
<b>4 ユーザーIDとパスワードを入手</b> 書類に不備等がなければ、インターネットによる申込み(入力)に必要なユーザーIDとパスワードを交付します。	-
<b>5 専用サイト(スカラネット)に入力、マイナンバーを提出</b> 詳細は申請書類の提出後、案内します。	学内締切 5/18 (月)
<b>6 「奨学金確認書兼地方税同意書」等の提出 &lt;提出先：日本学生支援機構&gt;</b> スカラネットの入力及びマイナンバーの提出後、一週間以内に、「奨学金確認書兼地方税同意書」等をととのえ、日本学生支援機構まで郵送します。	マイナンバー 提出後 一週間以内 5/31 (日) 必着

## 7 採用の決定

採用可否は7月上旬頃にメールやポータルでお知らせします。日本学生支援機構に提出した書類が不備等の場合、決定が8月以降になる場合があります。

## 8 家計に急変が生じている方

2024年の収入で収入基準が対象外である場合でも、生計維持者の死亡、病気等により就労が困難な場合、失業、被災により家計が急変した方は、奨学金案内 p47~57 の「緊急採用・応急採用」での申請ができる場合がありますので、教学課へ相談してください。

## 9 その他

手続に関して不備があった場合、大学教学課から連絡することがあります。不在着信、又はメールがあった場合は、速やかに折り返しの連絡や教学課窓口に来る等、対応してください。

問い合わせ先 所属キャンパスへ申請・問い合わせをしてください。

地域創生学部	生物資源科学部	保健福祉学部
広島キャンパス教学課学生支援係 TEL : 082-251-9720 〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1番71号	庄原キャンパス教学課 TEL : 0824-74-1701 〒727-0023 広島県庄原市七塚町5562番地	三原キャンパス教学課 TEL : 0848-60-1126 〒723-0053 広島県三原市学園町1番1号

# 日本学生支援機構(JASSO)貸与奨学金の ご利用をお考えの方へ

こんな人は

**機関保証制度**の利用をご検討ください  
今、奨学金を借りる**半分以上**の人が選んでいます

自分の意志と責任で  
奨学金を借りたい

連帯保証人、保証人に  
なってくれる人がいない



自分で責任を持って  
返還したい

収入・所得に応じた  
金額で返還したい

※第一種奨学金における所得連動返還方式（大学院修士  
段階の授業料後払い制度含む）を希望する場合、  
機関保証制度への加入が必要

# JASSO貸与奨学金の機関保証制度について

「機関保証制度」とは、あなたが一定の保証料を支払うことで保証機関による保証を受けられる制度です。

- ※保証機関は、公益財団法人日本国際教育支援協会（JEES）です。
- ※保証料は、原則として毎月の奨学金から天引きされます。

保証料額の目安はホームページをご覧ください。

<https://kikanhosho.jees.or.jp/guarantee/permonth/>



- ※貸与奨学金の申込みには「機関保証」か「人的保証」のどちらかの保証の選択が必要です。ただし、第一種奨学金における所得連動返還方式（大学院修士段階の授業料後払い制度含む）を選択する場合は、「機関保証」となります。

返還方式について（定額返還方式・所得連動返還方式）

[https://www.jasso.go.jp/shogakukin/henkan/houhou/henkan\\_hoshiki/](https://www.jasso.go.jp/shogakukin/henkan/houhou/henkan_hoshiki/)



## 機関保証制度の特徴

### 自立ができる

- ・自らの意志と責任で奨学金の貸与を受けることができます。
- ・あなたが責任を持って返還することになります。

### 連帯保証人、保証人に係る手続き等が不要

- ・連帯保証人（父または母）や保証人（親せき等）に手続きや書類の準備をお願いする必要がありません。

### 保証料が安い

- ・保証料は、一般的な教育ローンよりも割安です。

## 奨学金の返還

- ・保証料を支払っていても日本学生支援機構への返還義務があります。
- ・あなたが奨学金の返還を一定期間延滞した場合、保証機関（JEES）があなたに代わりJASSOへ一括で支払います（代位弁済）が、その後、あなたは保証機関（JEES）へ返済する必要があります。

